

保守担当の業務知識強化プログラムのご提案

2019年12月

システム企画研修株式会社

当ご提案の背景

昨今は働き方改革の残業規制強化等により、研修時間を確保することが極めて困難になっております。



他方、社員の能力強化の必要性は、ビジネス環境の変化によりますます大きくなっているのです。



この窮状を何とか打開しないと、どこの会社も社員もじり貧で、いずれ中国や米国の企業に淘汰されてしまいます。

- ▶ SZK（少しずつ刻む）シリーズは 研修時間を細切れにすることによって **密度の濃い研修を業務時間の中にもぐりこませようとするもの**でございます。
- ▶ このご提案の研修で利用いたします手法等は **これまで数多くの実践で有効性が保証されている**ものでございます。



保守担当の方が必要とする **業務知識** は二つに分かれます。

- ❖ 一つは、**業務全般に関する基礎知識**です。
 - 経営機能、経営組織運営、会計知識、業種・業務の知識、マネジメント手法に関する知識、一般的法・規制に関する知識です。
 - これらは、言うなれば業務担当の「常識」とも言えるものです。
 - ご提案の当研修では、その常識を体系化した「SE業務知識データベース」をご提供します。
- ❖ もう一つは、**その業務固有の知識やノウハウ**です。
 - これは一般の図書等で得ることは難しいもので、業務の担当も業務をしながら身につけているものです。その業務担当の仲間では「常識」になっています。
 - この習得は一般的な勉強では身につけられません。保守担当としては、一つ一つの案件を通して学んでいくしかなく、案件を担当する際に業務のニーズを的確に把握することによって積み上げていくのです。
 - ご提案の研修では「隠れたニーズを引き出すワークシート」をその目的に使用します。

保守担当の業務知識強化プログラムのご提案

1. 当対策の「目的・ねらい」(Why)

(1) 当対策の実施目的

- 1) 保守担当が知っているべき基礎業務知識のデータベースを入手していただきます。このデータベースには、用語の基礎解説のほか、参考図書、参考情報URLが収録されています。
- 2) 保守担当が個々の案件で、依頼者から業務ニーズを引き出し、自分の業務知識を強化していく方法を習得していただきます。ここで使用するワークシートは1枚で全貌が把握できる「優れモノ」です。

(2) 当対策のねらい

- 1) ソフトウェア保守担当の方が「そんなことも知らないのか」と言われないようにします。
- 2) 依頼者の要求を単純に鵜呑みにして、真の要求を実現できていないということが無いようにします。
- 3) 依頼者の要求を的確に把握することによって、システムの有効化が進展し、依頼者の評価が高まるようにします。
- 4) それにより、御社、担当、お客様の「三方よし」を実現します。

2. 当対策の内容 (What)

- ❖ 次頁をご参照ください。

3. 当対策のご対象者 (Where)

- ❖ 保守業務のご担当でこのテーマに関心のある方を対象といたします。
- ❖ 保守の依頼者と直接接点される方が対象です。

4. 当対策の実施方法 (How)

- 1) 1回2時間で実施します。時間帯は自由に設定いただけます。
- 2) 御社内で実施いたします。場所をご準備ください。
- 3) 「SE業務知識データベース」と「隠れたニーズを引き出すワークシート」は、当社サイトに上げますので随時ご利用いただけます（そのURLは受講者に連絡します）。



5. 当対策の実施時期・期間 (When)

- ❖ 第1回～第3回の間隔は2週間以内としてください。
- ❖ 第3回と第4回の間隔は2か月を標準とします。
- ❖ 講師側と日程調整してください。

6. 当対策の担当講師 (Who)

- ❖ 当面は上野則男が担当します。

7. 当対策の実施料金 (How Much)

- ❖ 研修料金は4回込みで60万円です（消費税別）。
- ❖ 「SE業務知識データベース」ご利用料金およびテキスト代込みです。
- ❖ 第4回が人数の関係で2回になっても同一料金です。

お問い合わせ

システム企画研修株式会社

電話：080-1169-3667

mind-pc@newspt.co.jp

保守担当の業務知識強化プログラムのご提案

2. 当対策の内容 (What)

- ❖ 御社内での1回2時間の研修により実施させていただきます。

第1回 業務基礎知識の習得方法

- ❖ 「SE業務知識データベース」の内容解説
- ❖ 「SE業務知識データベース」の活用法解説



第2回 業務ニーズを引き出す方法の理解

- ❖ すべての案件について「目的・ねらい」(背景・意図)があることを理解いただきます。
- ❖ 「隠れたニーズを引き出すワークシート」により、システムへの要求の背景にある業務ニーズを把握することによって、業務の理解を進める方法を学んでいただきます。



第3回 「隠れたニーズを引き出すワークシート」の活用練習

- ❖ 2人ペアになって、相手のテーマについて「隠れたニーズを引き出すワークシート」を使う練習をしていただきます。



第4回 実践報告会

- ❖ 2か月をおいてその間に実際のお客様の案件について「隠れたニーズを引き出すワークシート」を使っていただいた結果の発表をしていただきます。
- ❖ ご参加人数により分割実施いたします。



保守担当の業務知識強化プログラムのご提案

SE 業務知識データベースの項目一覧（一部）

2019/10/23

→	中項目	小項目	情報内容
1.	基礎業務知識		
	(1) 経営機能に関する基礎知識		
		1) 経営理念の重要性	→
		2) 経営戦略・経営計画の変化対応性	→
		3) 予算制度の問題点	→
		4) 責任と権限の問題点	→
		5) 組織連携の重要性	→
		6) 権限委譲の本質	→
		7) 危機管理(BCP)の重要性	→
		8) 人事評価制度の問題点	→
		9) 商品開発への要求条件	→
		10) 事業状況に合った財務戦略のあり方	→
	(2) 経営組織に関する基礎知識		
		1) 持ち株会社の有効性と限界	→
		2) 株主総会の権限	→
		3) 取締役会の権限	→
		4) 社外取締役の長所・短所	→
		5) 委員会設置会社の長所・短所	→
		6) 職能別組織の長所・短所	→
		7) 事業別組織の長所・短所	→
		8) カンパニ制の長所・短所	→
		9) 組織階層の必要性和問題点	→
		10) CIOの問題点	→
	(6) マネジメント手法に関する基礎知識		
		1) QMS・ISO9000	→
		2) ISO14000	→
		3) バランスト・スコアカード(BSC)	→
		4) リスクマネジメント	→
		5) TOC	→
		6) ビジネスプロセス・アウトソーシング(BPO)	→
		7) ISMS	→
		8) プライバシーマーク(Pマーク)	→
		9) シェアードサービス	→
		10) CMS(キャッシュマネジメントシステム)	→
	(7) 一般的法・規制に関する基礎知識		
		1) 会社法・金融商品取引法の内部統制規制	→
		2) 個人情報保護法	→
		3) 知的財産権の規定、著作権の規定	→
		4) 不正競争防止法	→
		5) 下請代金支払遅延等防止法	→
		6) 労働者派遣法の規制	→
		7) 労働基準法の規制	→
		8) 請負契約・派遣契約の規制	→
		9) 製造物責任法(PL法)	→
		10) 工事進行基準(会計)	→
		11) 男女雇用機会均等法	→
		12) コーポレートガバナンス	→
		13) 働き方改革関連法	→
		14) ストレスチェック制度	→
		15) 割賦販売法	→